

# 文教委員会報告資料

令和3年8月19日

報告事項件名	頁
(教育指導部)	
(1) 令和3年度「足立区学力定着に関する総合調査」の調査結果(学力部分)について	2
(2) AIドリルを活用した学習のモデル実施について……………	7
(3) 足立区立中学校制服・校則等に関する検討委員会の設置について……………	8
(学校運営部)	
(4) 小・中学校における「生理の貧困」対策について……………	9
(5) 東綾瀬中学校建設事業に伴う基本構想・基本計画書について……………	10
(6) 通学路安全点検の実施について……………	12
(子ども家庭部)	
(7) 令和2年度あだちっ子歯科健診の実施結果について……………	13
(8) 特別支援教育におけるICT活用計画の策定について……………	16

( 教 育 委 員 会 )

# 文教委員会報告資料

令和3年8月19日

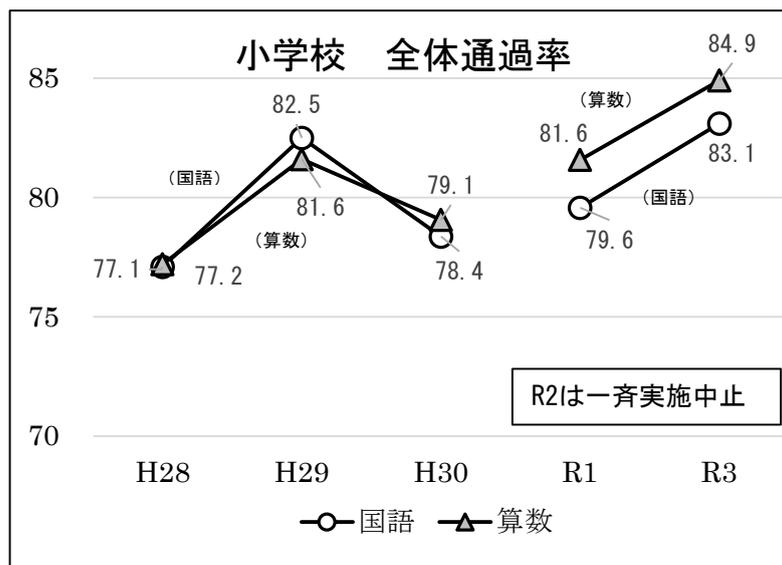
件名	令和3年度「足立区学力定着に関する総合調査」の調査結果(学力部分)について																																																					
所管部課名	教育指導部学力定着推進課																																																					
内容	<p>令和3年4月13日に実施した、令和3年度「足立区学力定着に関する総合調査」の調査結果について、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 実施結果</b></p> <p>(1) 実施日 令和3年4月13日(火)</p> <p>(2) 科目 ア 小学校(2～6年生)：国語、算数、意識調査 イ 中学校(1～3年生)：国語、数学、英語、意識調査</p> <p>(3) 調査実施人数(単位：人)</p> <p>ア 小学校</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 15%;">2年</th> <th style="width: 15%;">3年</th> <th style="width: 15%;">4年</th> <th style="width: 15%;">5年</th> <th style="width: 15%;">6年</th> <th style="width: 10%;">計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>4,726</td> <td>4,934</td> <td>4,927</td> <td>4,899</td> <td>5,018</td> <td>24,504</td> </tr> <tr> <td>算数</td> <td>4,730</td> <td>4,945</td> <td>4,932</td> <td>4,910</td> <td>5,028</td> <td>24,545</td> </tr> <tr> <td>意識調査</td> <td>4,745</td> <td>4,954</td> <td>4,940</td> <td>4,915</td> <td>5,042</td> <td>24,596</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 中学校</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 15%;">1年</th> <th style="width: 15%;">2年</th> <th style="width: 15%;">3年</th> <th style="width: 10%;">計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>4,409</td> <td>4,205</td> <td>4,163</td> <td>12,777</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>4,408</td> <td>4,206</td> <td>4,170</td> <td>12,784</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>4,410</td> <td>4,206</td> <td>4,169</td> <td>12,785</td> </tr> <tr> <td>意識調査</td> <td>4,409</td> <td>4,210</td> <td>4,171</td> <td>12,790</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2 調査受託者</b> 株式会社ベネッセコーポレーション</p>		2年	3年	4年	5年	6年	計	国語	4,726	4,934	4,927	4,899	5,018	24,504	算数	4,730	4,945	4,932	4,910	5,028	24,545	意識調査	4,745	4,954	4,940	4,915	5,042	24,596		1年	2年	3年	計	国語	4,409	4,205	4,163	12,777	数学	4,408	4,206	4,170	12,784	英語	4,410	4,206	4,169	12,785	意識調査	4,409	4,210	4,171	12,790
	2年	3年	4年	5年	6年	計																																																
国語	4,726	4,934	4,927	4,899	5,018	24,504																																																
算数	4,730	4,945	4,932	4,910	5,028	24,545																																																
意識調査	4,745	4,954	4,940	4,915	5,042	24,596																																																
	1年	2年	3年	計																																																		
国語	4,409	4,205	4,163	12,777																																																		
数学	4,408	4,206	4,170	12,784																																																		
英語	4,410	4,206	4,169	12,785																																																		
意識調査	4,409	4,210	4,171	12,790																																																		

### 3 学習定着度調査結果

(1) 小・中学校全体の通過率（単位：％）

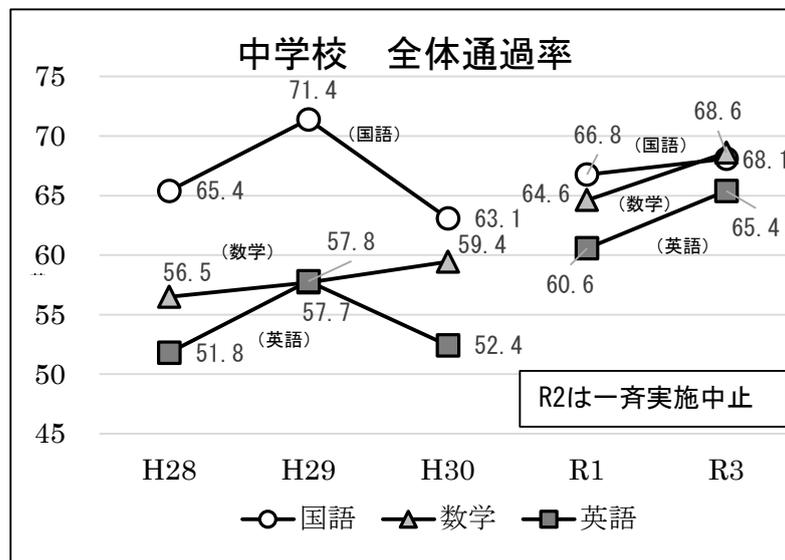
ア 小学校

全体通過率は、国語・算数とも R 1 を上回った。



イ 中学校

全体通過率は、いずれの教科も R 1 を上回った。



※ 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校の臨時休業措置による児童・生徒への影響に配慮し、学校運営の正常化に向けた取組みを最優先とすることから、一齐実施を取りやめた。

(2) 学年・教科別の通過率及び正答率 (単位：%)

※ 反転部分は通過率が令和元年度比で向上したものの。

ア 小学校

(ア) 国語 すべての学年で通過率が向上した。

		年度	小2	小3	小4	小5	小6
通過率	R 3		<b>84.0</b>	<b>88.3</b>	<b>85.5</b>	<b>83.0</b>	<b>74.7</b>
	※1 R 1		78.2	84.9	80.7	81.2	73.0
正答率	R 3		<b>83.9</b>	81.0	<b>71.3</b>	<b>70.5</b>	<b>69.9</b>
	※2 R 1		81.9	86.1	62.2	65.2	69.3

(イ) 算数 すべての学年で通過率が向上した。

		年度	小2	小3	小4	小5	小6
通過率	R 3		<b>94.8</b>	<b>85.2</b>	<b>87.2</b>	<b>76.0</b>	<b>81.8</b>
	R 1		89.5	83.0	86.1	73.3	76.1
正答率	R 3		<b>91.6</b>	<b>85.4</b>	74.0	<b>73.5</b>	<b>69.2</b>
	R 1		84.0	83.5	80.0	68.1	58.4

イ 中学校

(ア) 国語 すべての学年で正答率が向上した。

		年度	中1	中2	中3
通過率	R 3		71.2	<b>73.2</b>	<b>59.5</b>
	R 1		71.7	72.6	56.1
正答率	R 3		<b>69.1</b>	<b>71.8</b>	<b>71.1</b>
	R 1		65.7	60.2	61.4

(イ) 数学 通過率・正答率ともにすべての学年で向上した。

		年度	中1	中2	中3
通過率	R 3		<b>76.2</b>	<b>65.0</b>	<b>64.2</b>
	R 1		72.4	61.8	59.1
正答率	R 3		<b>69.9</b>	<b>55.8</b>	<b>55.4</b>
	R 1		61.3	53.9	53.3

(ウ) 英語 通過率・正答率ともにすべての学年で向上した。

		年度	中1	中2	中3
通過率	R 3		<b>74.8</b>	<b>61.7</b>	<b>59.2</b>
	R 1		71.1	52.4	57.2
正答率	R 3		<b>85.7</b>	<b>65.4</b>	<b>58.6</b>
	R 1		75.9	55.8	52.7

※1 通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合  
(目標値以上児童・生徒数÷受検者数×100(%))

※2 正答率：出題数中何問正解したかの割合  
(正答数÷出題数×100(%))

#### 4 学習意識調査結果（一部抜粋）

※ 反転部分は肯定的な回答の割合が令和元年度比で向上したものの。

〔肯定的な回答の割合（％）〕

##### (1) 学校に行くのが楽しい

	小学校平均	中学校平均
R 3	88.2	86.1
R 1	89.0	87.8
前年差	-0.8	-1.7

##### (2) 勉強が好きだ

	小学校平均	中学校平均
R 3	67.1	38.7
R 1	72.6	39.7
前年差	-5.5	-1.0

##### (3) 学校での授業が分かる

	小学校平均	中学校平均
R 3	<b>88.1</b>	<b>68.3</b>
R 1	87.8	67.4
前年差	+0.3	+0.9

##### (4) 宿題がないときでも家で勉強をする

	小学校平均	中学校平均
R 3	63.7	<b>63.8</b>
R 1	64.2	60.7
前年差	-0.5	+3.1

##### (5) 1か月に本を2冊以上読む

	小学校平均	中学校平均
R 3	<b>61.0</b>	<b>39.5</b>
R 1	60.1	38.2
前年差	+0.9	+1.3

##### (6) 大人になったときの夢や目標を持っている

	小学校平均	中学校平均
R 3	85.1	72.1
R 1	86.6	73.9
前年差	-1.5	-1.8

	<p><b>5 所見</b></p> <p>(1) 学力について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小・中学校全体の通過率は、すべての教科でR1を上回った。</li> <li>・ 学年・教科別の通過率においても、中1の国語を除きR1から向上した。</li> <li>・ 通過率の向上は、授業力向上と個に応じた指導を柱とした施策に加え、各学校における教育活動の工夫と学力向上の取組による効果の表れと考える。</li> </ul> <p>(2) 意識調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細は別途精査中。</li> <li>・ 「学校での授業が分かる」の数値が向上した。今後も足立スタンダードに基づく授業実践による「わかる授業」「魅力ある授業」を児童・生徒に届けられるよう全校をあげて取り組んでいく。</li> <li>・ 「学校に行くのが楽しい」「大人になったときの夢や目標を持っている」の数値低下は、新型コロナウイルス感染拡大による通学への不安や各種行事の中止・縮小の影響が考えられる。</li> <li>・ 「宿題がないときでも家で勉強する(中学校)」「1か月に本を2冊以上読む」の数値向上は、臨時休校中の家庭学習による習慣化が進んだ可能性が考えられる。</li> </ul> <p><b>6 今後の対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査結果を指導主事や学力定着指導員、教科指導専門員間で共有し、課題のある学校・教員には特に重点的に支援にあたる。</li> <li>・ 調査結果の詳細及び各学校の学力向上への主な取り組み等を「調査結果報告書」(冊子)にとりまとめ、12月下旬に関係機関に配付予定(ただし、学校別ページについては、学校選択の参考資料となることから、9月上旬を目途に区及び学校のホームページに掲載する。)</li> <li>・ 報告書の「概要版」(リーフレット)を保護者に配布する。</li> <li>・ 意識調査については、集計・分析結果がまとまり次第、あらためて報告する。</li> </ul>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>本調査結果を教育委員会と学校で共有し、「わかりやすい授業の確立」「個に応じた指導の充実」をさらに進める。</p>

件名	A I ドリルを活用した学習のモデル実施について
所管部課名	教育指導部学力定着推進課
内容	<p><b>1 概要</b></p> <p>(1) 目的          1人1台のタブレット環境を生かし、基礎学力定着に向けた取組の柱である「個に応じた指導」の更なる充実を図るため、A I ドリルを試行的に導入し、活用法の開発に取り組む。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【A I ドリルとは】</b>              生徒の解答状況からA I 機能により理解度を判断し、つまずきの原因となっている学習内容に遡って出題する学習教材</p> </div> <p>(2) モデル実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学チャレンジ講座の代替として、中学校4校で実施</li> <li>・ 中学1年、2年各20名（各校合計40名）を対象に、当面は放課後補習において活用</li> </ul> <p>※ 他の31校は、今年度も数学チャレンジ講座（講師派遣型の放課後補習事業）を実施する。</p> <p><b>2 試行的に導入するA I ドリル</b></p> <p>(1) <sup>キュービナ</sup>Q u b e n a （2校）</p> <p>(2) すららドリル（2校）</p> <p><b>3 今年度の具体的な取組</b></p> <p>(1) 9月から放課後補習（数学中心）での活用を開始</p> <p>(2) 次年度に向けた活用法の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内での活用を見据えた年間指導計画の作成</li> <li>・ 数学以外の教科の活用</li> </ul> <p>(3) 次年度本格導入する際のA I ドリルの選定</p> <p><b>4 検証</b></p> <p>(1) 生徒及び教員、管理職を対象としたアンケート調査の実施</p> <p>(2) 事前・事後テストによる効果検証</p> <p>※ 数学チャレンジ講座（講師派遣型）との比較</p>
問題点 今後の方針	<p>モデル校での試行を参考に、次年度以降の拡充に向けた検討を継続していくとともに、効果的な活用法の開発と周知により、I C T活用による学力向上策の一層の充実を図っていく。</p>

文教委員会報告資料

令和3年8月19日

件名	足立区立中学校制服・校則等に関する検討委員会の設置について															
所管部課名	教育指導部教育指導課															
内容	<p><b>1 目的</b> 令和3年3月に発行された「足立区LGBTガイドライン」には、自認する性別の制服（標準服）の着用を認める配慮の必要性が示されている。これを踏まえ、区立中学校の全ての生徒が自分に合った制服（標準服）を選べる環境を確立するため、「制服選択に係る標準的な運用方法」及び「校則改定の準則（ひな形）」について検討し、意見を取りまとめる。</p> <p><b>2 構成</b> 中学校校長会 4名 PTA連合会関係 2名 青少年委員会関係 1名 区職員（多様性社会推進課長、教育指導課長）</p> <p><b>3 検討事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制服選択の考え方と標準的な運用方法</li> <li>・ 校則改定（制服の男女別標記、下着の色など）の考え方と標準的な見直し案文</li> <li>・ その他制服・校則の検討に必要な事項</li> </ul> <p><b>4 今後の進め方</b></p>															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 1211 555 1256">年月</th> <th data-bbox="555 1211 932 1256">検討委員会</th> <th data-bbox="932 1211 1410 1256">各校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 1256 555 1451">R3. 7~</td> <td data-bbox="555 1256 932 1451">検討開始 ↓ ↓ ↓ ↓</td> <td data-bbox="932 1256 1410 1451">制服選択運用見直しや校則改定等に向けた生徒会や地域への働きかけ ↓</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1451 555 1630">~R3. 12</td> <td data-bbox="555 1451 932 1630">「制服選択の運用方法」 「校則改定」に係る基本事項の取りまとめ</td> <td data-bbox="932 1451 1410 1630">↓ ↓ ↓ ↓</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1630 555 1720">~R4. 1</td> <td data-bbox="555 1630 932 1720">各校進捗状況の確認 ↓</td> <td data-bbox="932 1630 1410 1720">(仮称)制服・校則等改定委員会 ① 校則</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1720 555 1980">R4. 2~</td> <td data-bbox="555 1720 932 1980">↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓</td> <td data-bbox="932 1720 1410 1980"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各校の状況に応じた検討及び生徒会との調整</li> <li>・ 生徒会による校則改定</li> </ul>                     ② 制服                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各校の状況に応じた検討及び新年度に向けた準備</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>		年月	検討委員会	各校	R3. 7~	検討開始 ↓ ↓ ↓ ↓	制服選択運用見直しや校則改定等に向けた生徒会や地域への働きかけ ↓	~R3. 12	「制服選択の運用方法」 「校則改定」に係る基本事項の取りまとめ	↓ ↓ ↓ ↓	~R4. 1	各校進捗状況の確認 ↓	(仮称)制服・校則等改定委員会 ① 校則	R4. 2~	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
年月	検討委員会	各校														
R3. 7~	検討開始 ↓ ↓ ↓ ↓	制服選択運用見直しや校則改定等に向けた生徒会や地域への働きかけ ↓														
~R3. 12	「制服選択の運用方法」 「校則改定」に係る基本事項の取りまとめ	↓ ↓ ↓ ↓														
~R4. 1	各校進捗状況の確認 ↓	(仮称)制服・校則等改定委員会 ① 校則														
R4. 2~	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各校の状況に応じた検討及び生徒会との調整</li> <li>・ 生徒会による校則改定</li> </ul> ② 制服 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各校の状況に応じた検討及び新年度に向けた準備</li> </ul>														
問題点・今後の方針	令和4年度からの運用開始に向け、検討を進めていく。															

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和3年8月19日

件 名	小・中学校における「生理の貧困」対策について
所 管 部 課 名	学校運営部学校支援課
内 容	<p><b>1 目的</b> 長引くコロナ禍もあり、金銭的な理由で生理用品を買えない「生理の貧困」が問題になっていることを受け、自身で生理用品を用意することができない児童・生徒の支援として、保健室での常備に加え、より利用しやすい全小中学校のトイレにも配置する。</p> <p><b>2 経費</b> 学校配付予算の範囲内で追加配付し、各校が必要数を購入する。</p> <p><b>3 点検及び補充</b> 用務業務委託作業員が校内巡視時に点検、補充する。</p> <p><b>4 配置方法</b> 各個室内の棚に置くか、フックを貼り付け、透明の手提げ袋に入れて掛ける。</p> <p><b>5 実施時期</b> 令和3年9月～（夏休み期間を利用して設置）</p> <p><b>6 他区の状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊島区で5月から、江戸川区で6月からトイレ内に配置済み。</li> <li>・ 東京都では、9月から全ての都立高校の女子トイレ内に配置する。</li> </ul>
問 題 点 今 後 の 方 針	学校及び用務委託事業者と連携して準備を進めていく。

# 文教委員会報告資料

令和3年8月19日

件名	東綾瀬中学校建設事業に伴う基本構想・基本計画書について																	
所管部課名	学校運営部 学校施設管理課 施設営繕部 東部地区建設課																	
内容	<p>東綾瀬中学校建設事業に伴う基本構想・基本計画書【別添資料1】について、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 基本構想・基本計画の概要</b></p> <p>(1) 基本方針</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 充実した学習環境</p> <p style="margin-left: 40px;">① 成長を実感できる教育施設</p> <p style="margin-left: 40px;">② 快適で安全な生活環境が整った施設</p> <p style="margin-left: 40px;">③ 時代の変化に対応できる施設</p> <p style="margin-left: 40px;">④ 情報社会に対応できる施設</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 地域の拠点となる学校</p> <p style="margin-left: 40px;">⑤ 地域防災の拠点としての施設</p> <p style="margin-left: 40px;">⑥ 地域のシンボルとしての施設</p> <p style="margin-left: 40px;">⑦ 地域に開かれた施設</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 新たな生活様式への対応や環境への配慮</p> <p style="margin-left: 40px;">⑧ 健康で快適な生活を送ることのできる施設</p> <p style="margin-left: 40px;">⑨ 利用しやすく人と環境にやさしい施設</p> <p>(2) 施設概要等</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 構造：鉄筋コンクリート造</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 階数：5階建て（5階はプール等）</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 敷地面積：12,658㎡</p> <p style="margin-left: 20px;">エ 延床面積：13,200㎡程度</p> <p style="margin-left: 20px;">オ 主要諸室：普通教室（24室）、多目的教室（3室）、特別教室等（11室）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">種別</th> <th style="width: 10%;">階数</th> <th style="width: 80%;">主要諸室・校庭内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">校舎</td> <td style="text-align: center;">5階</td> <td>プール、更衣室、電気室、太陽光パネル</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4階</td> <td>普通教室（8室）、多目的教室、技術室、美術室</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3階</td> <td>普通教室（8室）、多目的教室、理科室、被服室、</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2階</td> <td>普通教室（8室）、多目的教室、音楽室、調理室、体育館、職員室、校長室、事務室、防災備蓄倉庫</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1階</td> <td>図書室、視聴覚室、多目的ホール（武道場）、保健室、特別支援学級関連諸室、給食室、防災備蓄倉庫、地域連携室、PTA室、和室、等</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">校庭</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>150mトラック（6レーン）、75m直線（6レーン）、体育倉庫等</td> </tr> </tbody> </table>	種別	階数	主要諸室・校庭内訳	校舎	5階	プール、更衣室、電気室、太陽光パネル	4階	普通教室（8室）、多目的教室、技術室、美術室	3階	普通教室（8室）、多目的教室、理科室、被服室、	2階	普通教室（8室）、多目的教室、音楽室、調理室、体育館、職員室、校長室、事務室、防災備蓄倉庫	1階	図書室、視聴覚室、多目的ホール（武道場）、保健室、特別支援学級関連諸室、給食室、防災備蓄倉庫、地域連携室、PTA室、和室、等	校庭	—	150mトラック（6レーン）、75m直線（6レーン）、体育倉庫等
種別	階数	主要諸室・校庭内訳																
校舎	5階	プール、更衣室、電気室、太陽光パネル																
	4階	普通教室（8室）、多目的教室、技術室、美術室																
	3階	普通教室（8室）、多目的教室、理科室、被服室、																
	2階	普通教室（8室）、多目的教室、音楽室、調理室、体育館、職員室、校長室、事務室、防災備蓄倉庫																
	1階	図書室、視聴覚室、多目的ホール（武道場）、保健室、特別支援学級関連諸室、給食室、防災備蓄倉庫、地域連携室、PTA室、和室、等																
校庭	—	150mトラック（6レーン）、75m直線（6レーン）、体育倉庫等																

	<p><b>2 水害の視点を考慮した主な防災対策</b></p> <p>(1) 洪水災害に対応できるよう、主な避難場所となる体育館及び備蓄倉庫を2階に配置する。</p> <p>(2) 災害対策の拠点となる職員室は体育館同様2階に計画し、避難者への炊出し支援に活用できる調理室も2階に配置する。</p> <p>(3) 各階の主要な廊下幅を3m以上確保し、災害時に一時避難者が滞在できる空間として活用する。</p> <p>(4) 防災備蓄倉庫は、十分な備蓄ができる広さを確保する。</p> <p>(5) 受変電設備を含む主要な電気及び機械設備は、水没しない2階以上に配置する。</p> <p>(6) 非常用発電設備を設け、災害時に活用する。</p> <p><b>3 新型コロナウイルス感染拡大防止対策</b></p> <p>(1) 主な避難所となる体育館を中心に、十分に換気が行えるよう空気を循環させる構造とする。</p> <p>(2) 教室の大きさを幅8m×奥行9mとし、感染症対策に有効な最低限の座席間隔（前後1.1m、左右1m）を確保する。</p> <p>(3) 児童が使用する手洗い水栓等の衛生器具を非接触型（センサー式）とするなど、衛生面の配慮を行う。</p> <p><b>4 今後の予定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年 5月上旬・・・仮設校舎へ引越し</li> <li>・ 令和4年 5月中旬 ～令和4年11月上旬・・・旧校舎解体工事（仮設校舎へ引越後）</li> <li>・ 令和4年11月中旬 ～令和6年 7月下旬・・・新校舎建設工事（解体工事完了後）</li> <li>・ 令和6年 8月中旬・・・新校舎に移転</li> <li>・ 令和6年 9月上旬・・・学校運営開始（夏季休業明けから）</li> </ul>
<p>今後の方針</p>	<p>地域住民、検討協議会等と十分な協議を行いながら、学校運営に支障がないようスケジュール管理を徹底していく。</p>

文教委員会報告資料

令和3年8月19日

件名	通学路安全点検の実施について
所管部課名	学校運営部学務課
内 容	<p>6月28日、千葉県八街市において、下校中の児童5名が死傷する事故が発生した。これを受け、文部科学省からの依頼に基づき、通学路の安全点検を実施する。</p> <p>については、これまでの通学路合同点検等の蓄積を活用して、以下のように進める。</p> <p><b>1 危険箇所のリストアップと合同点検の実施及び対策必要箇所の抽出【9月末まで】</b></p> <p>(1) 危険箇所のリストアップ 各小学校に対して、全国共通の以下の観点に基づき、危険箇所を抽出したリストを7月末までに提出するよう依頼した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になっている道路など車の速度が上がりやすい箇所、大型車の進入が多い箇所</li> <li>・ 過去に事故に至らなくてもヒヤリハット事例があった箇所</li> <li>・ 保護者、見守り活動者、地域住民等から市町村への改善要請があった箇所など</li> </ul> <p>(2) 合同点検の必要箇所の抽出 学校から提出されたリストと区で集約している「通学路安全マップ」等も活用しながら、地域や警察署等との合同点検の必要箇所を抽出する。</p> <p><b>2 対策案の検討と取りまとめ【10月末まで】</b> 合同点検を実施し、対策の必要がある箇所と対策案を関係者の協議を経て取りまとめる。</p>
問題点 今後の方針	

文教委員会報告資料

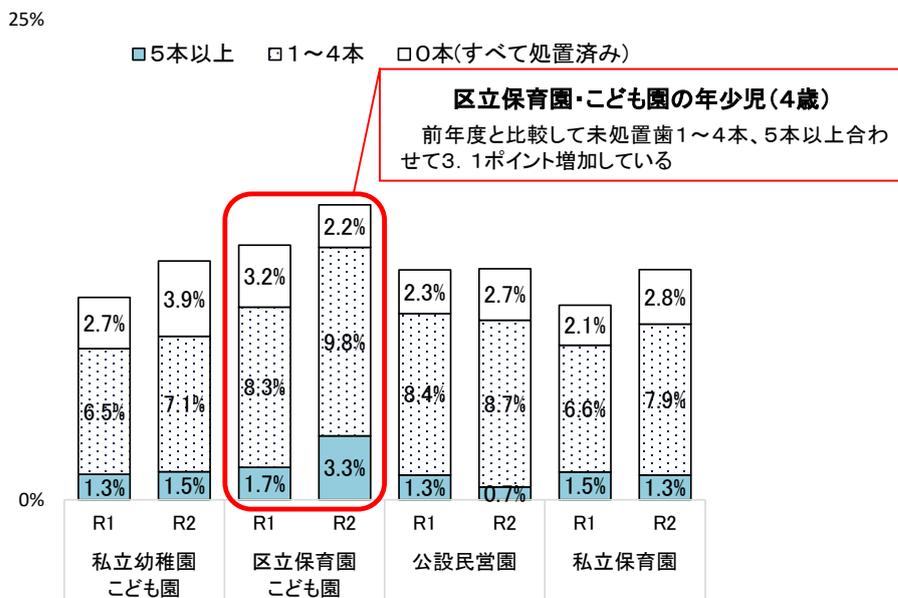
令和3年8月19日

件名	令和2年度あだちっ子歯科健診の実施結果について																												
所管部課名	子ども家庭部 子ども政策課、子ども施設運営課、私立保育園課、子ども施設入園課 衛生部 データヘルス推進課																												
内容	<p>平成27年度から実施している「あだちっ子歯科健診」について、令和2年度の実施結果がまとまったので報告する（詳細は別添資料2参照）。</p> <p>なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、約5か月後ろ倒しで実施した。</p> <p><b>1 実施結果から見える3つの課題と今後の対策</b></p> <p><b>【課題1】</b></p> <p>年少児（4歳）のむし歯のある子の割合が増加した（図1参照）。</p> <p>※ 27年度の開始以来、初めて増加となった。</p> <p><b>【図1】乳歯にむし歯がある子どもの割合（むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む）</b></p> <table border="1"> <caption>図1: 乳歯にむし歯がある子どもの割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>年少児(4歳)</th> <th>年中児(5歳)</th> <th>年長児(6歳)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>19.9%</td> <td>30.3%</td> <td>37.8%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>16.7%</td> <td>27.7%</td> <td>38.2%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>14.8%</td> <td>26.2%</td> <td>36.1%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>12.0%</td> <td>21.9%</td> <td>33.1%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>10.9%</td> <td>20.0%</td> <td>29.4%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>12.7%</td> <td>19.7%</td> <td>29.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>年少児(4歳)は1.8ポイント増加した。</p> <p><b>●対策</b></p> <p>ア むし歯の多い地域についてデータを分析していく。</p> <p>イ その結果を基に歯科衛生士がエリア施設連絡会等に参加し、地域の特徴等の情報を共有した上で、実効性のある取り組みを提案し、歯科指導を強化していく。</p>	年度	年少児(4歳)	年中児(5歳)	年長児(6歳)	H27	19.9%	30.3%	37.8%	H28	16.7%	27.7%	38.2%	H29	14.8%	26.2%	36.1%	H30	12.0%	21.9%	33.1%	R1	10.9%	20.0%	29.4%	R2	12.7%	19.7%	29.3%
年度	年少児(4歳)	年中児(5歳)	年長児(6歳)																										
H27	19.9%	30.3%	37.8%																										
H28	16.7%	27.7%	38.2%																										
H29	14.8%	26.2%	36.1%																										
H30	12.0%	21.9%	33.1%																										
R1	10.9%	20.0%	29.4%																										
R2	12.7%	19.7%	29.3%																										

## 【課題 2】

施設種別に年少児（4歳）を比較すると、区立保育園・こども園の増加率が高くなっている（図2参照）。

【図2】未処置のむし歯がある子どもの割合（施設種別）



## ●対策

ア むし歯の多い区立園を優先に歯科衛生士が保護者会に参加し、「歯によいおやつ」のリーフレットの配付や仕上げみがきの方法を指導するなど、乳児期からむし歯予防のための生活習慣を家庭へ啓発し、定着をめざしていく。

イ 保護者に対して、未処置歯の治療勧奨を積極的に行っていく。  
ウ 飛沫防止のため中止していた年少児（4歳）からの給食後の歯みがきを全ての園で再開する。

## 【課題 3】

年齢別で新たにむし歯になりやすい歯がわかった。令和2年度区立保育園・こども園の年少児（4歳）における歯科健診結果を元年度の結果とつなげて分析し、新たにむし歯になりやすい歯を特定した（表1参照）。

【表1】新たに増えたむし歯の部位

【同じ子どもの歯科健診結果をつなげて分析】

	2歳児→年少児 438名	年少児→年中児 535名	年中児→年長児 597名
1位	左上A(前歯)29名	左下D(奥歯)33名	右下・左下D(奥歯)48名
2位	右上A(前歯)28名	右下D(奥歯)32名	左上・左下E(奥歯)40名
3位	左下E(奥歯)17名	右下E(奥歯)27名	右上E(奥歯)39名

	<div style="text-align: center;"> </div> <p><b>●対策</b></p> <p>ア むし歯になりやすい歯がわかったので、チラシ等で保護者に周知し、注意喚起を図っていく。</p> <p>イ 歯科衛生士がむし歯になりやすい歯の集中的な仕上げみがきの方法を保護者会等で指導し、実践につなげていく。</p> <p><b>2 未通園児に関する課題と対策について</b></p> <p><b>【課題】</b></p> <p>ア 個別通知用の封筒を、目立つようにピンク色へ変更するなど工夫したことで、受診者数が前年度比3ポイント増の17.3%となったが、受診率が低い状態であるので、引き続き取り組みの強化が必要である。</p> <p>イ データ分析により未通園児に「ひとり親」「外国籍」等の家庭が一定数いることがわかった。</p> <p><b>●対策</b></p> <p>ア 昨年度未受診者へ複数回のハガキ等を郵送するなど、事前に受診勧奨を実施する。</p> <p>イ データでわかった未通園児の家庭状況に応じて、関係機関からの受診勧奨を依頼する。</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>1 報告書を各教育・保育施設に送付し、結果を周知する。</p> <p>2 「あだちっ子の飛沫防止の歯みがき方法」を基に施設での年少児（4歳）からの歯みがき指導の再開を支援していく。</p> <p>3 未通園児等の健診実施率・受診率の向上のために、対象児をさらに分析した上で関係機関を広げるなど、連携を強化していく。</p>

# 文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和3年8月19日

件 名	特別支援教育におけるICT活用計画の策定について
所 管 部 課 名	こども支援センターげんき支援管理課
内 容	<p>「足立区ICT教育推進の基本方針」における個別分野の一つとして、ICTの活用が必要とされる特別支援児童・生徒の学びを支援するための活用計画を策定したので報告する（別添資料3参照）。</p> <p><b>1 取り組みの方向性</b> ICTを活用した新たな特別支援教育を推進し、困り感のある児童・生徒一人ひとりへの教育的な配慮や個別支援をさらに充実させていく。</p> <p><b>2 計画期間</b> 令和3年度から令和6年度まで</p> <p><b>3 支援・施策の概要</b></p> <p>(1) 学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICTを活用した個々の学力に応じた学習支援</li> <li>・ ICTを活用した発達特性に応じた学習支援</li> </ul> <p>(2) 教師・学校支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達支援対応への教師支援（オンライン相談や動画配信）</li> <li>・ 個別支援計画作成への支援（オンライン支援）</li> <li>・ 校内委員会や校内研修等への支援（オンライン支援）</li> </ul> <p>(3) 家庭支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動画配信等による保護者支援</li> <li>・ オンライン相談による個別支援</li> </ul> <p><b>4 進行管理</b> 外部専門員・学校関係者とこども支援センターげんきの職員で組織された特別支援教育検討委員会（年4回開催予定）で事業の進捗を管理する。</p> <p>(1) 学習支援に関する進捗管理</p> <p style="margin-left: 20px;">ア ICTを活用した支援を実施した教師の状況について調査（令和3年10月）</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 学習支援を受けた児童・生徒の満足度の調査（令和4年2月）</p>

	<p>(2) 教師・学校支援に関する進捗管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 個別指導計画作成の支援システムを導入した効果検証（令和3年8月中間調査、令和4年2月最終調査）</li> <li>イ オンラインを活用した校内委員会や校内研修等から得られた支援策で、特別支援教育に対する教師の意識変化について調査（令和4年2月）</li> </ul> <p>(3) 家庭支援に関する進捗管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 動画配信を活用した支援プログラムを実践した保護者の満足度調査（1回目・令和3年7月、2回目・令和4年3月～4月）</li> <li>イ オンライン相談を受けた保護者の人数と満足度調査（随時）</li> </ul> <p><b>5 今年度の主な取り組み</b></p> <p>(1) 学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 児童・生徒の個々の学力に応じた教材アプリ（学習ドリルなど）を活用した個別学習の実践</li> <li>イ 集中力を高める効果のある視覚提示やカメラ機能などのICT機能を活用した授業実践</li> <li>ウ 読むことやノートに書き写すことができない児童・生徒の困難さを軽減するため、ICT機能を活用した授業実践</li> </ul> <p>(2) 教師・学校支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 30校の小・中学校による支援システムを活用した個別指導計画等の作成と指導実践</li> <li>イ 校内委員会や校内研修会等に、こども支援センターげんきの職員がオンラインで参加して指導・助言</li> </ul> <p>(3) 家庭支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 対面相談が難しい保護者に対して、自宅からでも相談できるオンライン相談の開始</li> <li>イ 就学移行プログラム等に参加できない保護者に対して、自宅でもこのプログラムが活用できる動画配信やオンライン相談の実施</li> </ul>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>令和4年2月、特別支援教育検討委員会で調査結果を検証し、改善点を適宜翌年度の「足立区特別支援教育におけるICT活用計画」の実践内容に反映させていく。</p>